

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な !

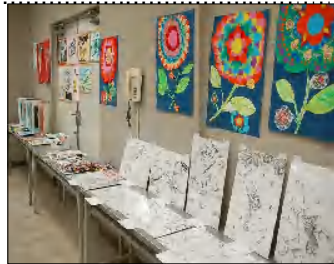
全教豊中教組大会開催 新執行部選出 当面のとりくみを確認

2010年度執行部

執行委員長	池田 和幸(一中)
副委員長	木田 依利子(東泉丘小)
	北尾 秀徳(南丘小)
書記長	三輪 浩一(桜井谷東小)
書記次長	藤木 桂子(寺内小)
	廣島 由美子(箕輪小)
会計委員	中野純子(十中)
執行委員(9)	西山 美樹(熊野田小)
	北村 建一(北緑丘小)
	久保田 百合(五中)
	児玉 光司(東豊中小)
	村上 めづる(豊島小)
	高橋 信也(北条小)
	森田 志乃(一中)
	赤松 芙美(北条小)
	突田 行生(十四中)

全教豊中教職員組合は2月5日、福祉会館で第一二二回定期大会を開催。当面のとりくみと

○新任で加入した組合員が、なぜ全教に入ったのか発言。
○青年フェスタの副実行委員長が豊中からたくさん参加してほしいと呼びかけ
○府の保育特休改悪でこれまで組合が獲得してきた働きやすい



来年度の新しい役員を選出した。
府の特別休暇改悪に対し、引き続き府議会に向けてのとりくみや府民の共同を広げ、橋下行革ストップの運動をすすめていく重要性の提起がありました。討論では、

条件が崩されることへの懸念の発言。
○退職が目の前に近づいた組合員は平和のとりくみ、豊中戦争展などこれからも大切にしていってほしい
大会場には図工・美術の作品も展示。また、お茶も用意されており、アットホームに大会が進行しました。



全教

2010年2月10日
NO. 448

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Webページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

「管理職が特定の組合加入をすすめること」
「組合に入らないように声をかけること」

不当労働行為です

A 小学校で昨年末、管理職が組合に入っていない教職員に対し、特定の組合に入るように働きかけるといふことが起こりました。

分会が校長と交渉をもちましたが、校長はその問題点を認識せず、「他にも同じような管理職がいる」などと答えていました。問題を指摘され、校長は謝罪しました。

執行部は、市教委にこの事実を伝えると、市教委は「ありえないこと」「おどろきです」「あつてはならないこと」と答えました。他職場でも同じように、管理職からの特定組合への勧誘をされた経験をしている教職員がいることから、

豊中のいくつもの職場で起こっている状況であることを市教委に伝え、管理職には「中立義務があること」、こうした行為は許されないことであることを管理職に對して、指導するように求めました。

《不当労働行為》労働組合法第7条。使用者が労働組合や組合員に不利益になるようなことを行つてはならないことなどを規定。

※日産自動車事件

昭和62年最高裁判決

会社が組合間の差別的な取り扱いをしたことについて、他組合と異なる取り扱いをする合理的理由はないと会社側の上告を棄却した。

2月20日～21日は 箕面観光ホテルに青年大集合 第21回青年フェスタ近づく

いっしょに
参加
しましょう

フェスタ副実行委員長
佐伯知香（東豊中小）

青年フェスタでは、講演会、実践レポート、夕食交流会、実技講座などがあります。二日間でもりだくさんに学習できるのはもちろんのこと、フェスタの最大の魅力は青年が作っている会であるということ。フェスタを盛り上げるために、大阪府下の青年が集まり、企画、進行、実践レポートなどどれも青年が行います。心があたたかくなる、すてきなテーマソングも青年の作詞作曲です。すみからすみまで青年の思いがいっぱいつまっています。同じように悩んでいる人との出会い、うまくいったことや嬉しかったことの交流など、参加すると元気が出ることもまちがいない！ぜひ、みなさんと誘い合つて参加してください。お待ちしております！



教育振興計画(案)について 検討会議に参加して(前)

平川 節代 (緑地小)

今後十年の市の教育計画

今後十年にわたり豊中市

の教育をどのようにしていくのかという「教育振興計画(案)」が提案されました。この(案)に対して、市民から意見(パブリックコメント)を求め、最終的な「振興計画」がまとまります。私は「教育振興計画検討会議委員」として検討会議に出席し、教育現場の現状・声が反映されるようにと発言してきましたが、力不足で十分な役割を果たすことができませんでした。

市民・教職員の声を届けよう

この(案)に対し、十分な関心を持っていただき、

教育現場のみなさんから、たくさん声を上げていた
だきたいと思います。

検討会議を立ち上げ、市民公募による委員も含めて一年半にわたり、論議を重ねてきました。教育委員会当局も大変な努力だったと思います。(案)に対してたくさんの方々の意見をさらに加えて、よりよいものにしていくことができると思います。

子どもの「貧困」問題は？ 求められる具体的施策

子どもたちの現状について様々な角度から述べられています。生活実態、とくに今、最も問題になっている子どもの「貧困」から

の分析がほとんどなされて
いません。

本市教育に求められる重点事項の第一に①「確かな学力の向上」があげられています。学力の向上につながる子どもの成長・発達を支えるという視点が抜けているように思われます。

子どもたちを「貧困」から解放することが豊かな学力につながるという意見もあります。そのとおりだと思います。熱を出した子

どもを迎えにきてもらおう
として、母親に連絡がつか

ず、父親に連絡をしようとする
と「お父さんはダメ、給料減らされる。」と訴える子ども。昼間の仕事、夜の仕事とかけもちしなければならぬ保護者。子どもたちが将来に対して夢や希望を持ちにくくなっている現状。そういった子どもたち、どういった支援ができるのか、具体的な施策が求められています。(続)

豊中市教育振興計画 市民説明会

- 2月9日(火) 午後7時～8時半
千里公民館 第一講座室
- 2月10日(水) 午後7時～8時半
中央公民館 集会場
- 2月12日(金) 午後7時～8時半
庄内公民館 集会場
- 2月13日(土) 午後2時～3時半
教育センター

意見は
2月16日(火)
まで

どんどん意見を出しましょう!

歌は平和であってこそ

知っていますか 豊中市の歌

豊中市歌

「豊中市が誕生して十周年を迎えた昭和21年（一九四六年）の10月、市民体育祭、音楽祭、演芸大会などの記念行事を開催し、その締めくくりとして市歌を公募しました。辰己利治さんの詞に、当時市内に住んでいた作曲家・須藤五郎さんがメロディーをつけて翌年発表。格調高い歌詞とメロディーに、戦争からようやく解放された人びとの希望や力強さ、まちづくりにかける期待が感じられます。」

※豊中市HPから

須藤五郎さんは、宝塚歌劇団の作曲家であり、また、のちの国會議員にもなった人

一 六甲遙か

野は潤（ひろ）く
大大阪に

辺（ほとり）して
豊島ヶ丘の

ここに立つ
風光すぐれ

人和する
ああ 明朗の 豊中市

二 松美しく

水澄みて
粧（よそほ）い清き

たたずまい
天与の幸の

満つところ
文化の花も

咲きにおう
ああ はつらつの

豊中市
緑の都 豊中市

三 生氣は新た

日本の
いま大いなる

朝ぼらけ
平和の光

仰ぎつつ
理想の都

打ち建てむ
ああ興隆の 豊中市

緑の都豊中市

豊中市のHPで1番の曲を聴くことができます。

歌には、そこにある思いがこめられています。戦後直後の豊中の様子が、そして、当時の市民の思いが伝わってきます。

次回からは豊中の学校の校歌について数回に分けて紹介していきます。

豊中市歌

辰己利治作詞、須藤五郎作曲。

ろくこうはるか のはひろく だ
い おお さかに ほとりして
てしまがおかの ここにたつ
ふうこうすぐれ ひと-わする
あ あ めいろのとよなかし
み どり-の-み やこ とよなかし